

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: 結核 181 例
- 3 類感染症: 細菌性赤痢 11 例(感染地域:埼玉県 5 例*、中国 3 例、パキスタン 1 例、エジプト 1 例、インド/ネパール 1 例) *うち 4 例は第 15 週に始まった知的障害者更生施設に関連した集団発生、腸管出血性大腸菌感染症 130 例(うち有症者 92 例、うち HUS 3 例、死亡なし)[感染地域:国内 128 例、トルコ 1 例、不明 1 例 国内の多い感染地域:大阪府 33 例*、静岡県 15 例*、兵庫県 7 例、熊本県 6 例、神奈川県 6 例、長崎県 6 例* *保育園に関連した集団発生を含む 年齢群:10 歳未満(58 例)、10 代(18 例)、20 代(11 例)、30 代(13 例)、40 代(9 例)、50 代(10 例)、60 代(5 例)、70 歳以上(6 例) 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(56 例)、O157 VT2(36 例)、O26 VT1(11 例)、O121 VT2(5 例)、O111 VT1(3 例)、O157 VT1(2 例)、O91 VT1(1 例)、O103 VT1(1 例)、O103 VT1・O121 VT2(1 例)、その他/不明(14 例)、腸チフス 3 例(感染地域:ネパール 2 例、インドネシア 1 例)
- 4 類感染症: デング熱 3 例(感染地域:バングラデシュ 1 例、インドネシア 1 例、タイ 1 例)、日本紅斑熱 3 例(感染地域:すべて鹿児島県)、マラリア 1 例(三日熱_感染地域:ネパール)、ライム病 1 例(感染地域:米国)、レジオネラ症 11 例(肺炎型 10 例、ボンティアック型 1 例)[年齢群:40 代 2 例、50 代 3 例、60 代 3 例、70 代 1 例、80 代 1 例、90 代 1 例 感染地域:福島県 1 例、茨城県 1 例、埼玉県 1 例、石川県 1 例、静岡県 1 例、愛知県 1 例、三重県 1 例、京都府 1 例、大阪府 1 例、兵庫県 1 例、国内(都道府県不明)1 例]、レプトスピラ症 1 例(感染地域:沖縄県)
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 7 例(腸管アメーバ症 3 例、腸管外アメーバ症 4 例)[感染地域:国内 6 例、フィリピン 1 例 感染経路:経口 2 例、性的接触 1 例(同性間)、不明 4 例]、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例(孤発性プリオン病古典型)、後天性免疫不全症候群 11 例(AIDS 1 例、無症候 9 例、その他 1 例)[感染地域:国内 8 例、国外(国不明)1 例、不明 2 例 感染経路:性的接触 10 例(異性間 2 例、同性間 7 例、異性間/同性間不明 1 例)、不明 1 例]、梅毒 5 例(早期顕症 I 期 1 例、早期顕症 II 期 2 例、晩期顕症 2 例)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例(遺伝子型:不明_菌検出検体:尿)

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ:定点当たり報告数は第 29 週以降減少が続いているが、過去 5 年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県(5.10)、大分県(0.10)、宮崎県(0.10)が多い。
 小児科定点報告疾患:RS ウイルス感染症は 151 例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の約 75%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は 3 週連続で減少した。都道府県別では高知県(0.83)、長野県(0.75)、富山県(0.66)、佐賀県(0.61)が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第 23 週以降減少が続いている。都道府県別では福井県(1.50)、鳥取県(1.26)、秋田県(1.09)、埼玉県(0.93)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第 21 週以降減少が続いている。都道府県別では島根県(6.2)、大分県(5.9)、宮崎県(5.2)、福井県(4.7)が多い。水痘の定点当たり報告数は第 25 週以降減少が続いている。都道府県別では福島県(1.10)、新潟県(1.08)、石川県(1.07)が多い。手足口病の定点当たり報告数は 3 週連続で減少した。都道府県別では和歌山県(3.6)、秋田県(3.3)、福島県(3.1)、山形県(2.9)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は 3 週連続で減少した。都道府県別では福井県(0.77)、高知県(0.77)、長野県(0.64)が多い。百日咳の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では山口県(0.20)、千葉県(0.14)、高知県(0.07)、兵庫県(0.06)が多い。風しんの報告数は 7 例と横ばいであった。都道府県別では大阪府 2 例、茨城県、埼玉県、東京都、岡山県、高知県から各 1 例の順であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は 3 週連続で減少した。都道府県別では宮崎県(5.8)、新潟県(5.1)、青森県(3.7)、長野県(3.4)が多い。麻しんの報告数は増加し、17 都道府県から 61 例の報告があった。都道府県別では福岡県 19 例、大阪府 7 例、北海道、岡山県から各 5 例、新潟県 4 例、千葉県、山梨県、広島県から各 3 例、宮城県、埼玉県、愛知県から各 2 例の順であった。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は 3 週連続で減少した。都道府県別では秋田県(0.86)、新潟県(0.70)、愛媛県(0.65)が多い。
 基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では福島県(2.00)、岡山県(1.60)、沖縄県(1.43)が多い。成人麻しんの報告数は増加し、13 都道府県から 22 例の報告があった。都道府県別では、福岡県 5 例、北海道、神奈川県、福井県、長野県、大阪府から各 2 例、宮城県、千葉県、東京都、兵庫県、岡山県、愛媛県、佐賀県から各 1 例の順であった。

1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点								
	RS ウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A 群溶血性レンサ球	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	成人麻しん	
(定点当たり)																						
愛媛県		.2	.5	3.7	.9	.6	.4	1.6			2.9		.6		2.9				.2		.2	
近畿	香川県	.2	.0	.5	2.9	.4	.2	.4	1.0		1.6		.2	.3	.3							
	徳島県	.1	.2	.3	3.8	.6	.3	.3	.8		2.6		.4					.3				
	高知県		.8	.2	3.1	.4	.6	.8	.7	.1	.0	2.5		.6	4.0				.1	.1		
全国	.1	.1	.3	.5	2.3	.6	.8	.2	.6	.0	1.8	.0	.3	.0	.6	.0	.1	.3	.0	.0	.0	
北海道	.0	.3	.8	1.0	1.0	.3	.4	.4			1.6	.0	.1		.6			.1	.1		.1	
東北	.0	.1	.2	.5	1.6	.6	2.0	.3	.6	.0	2.1	.0	.3		.6			.0	.7		.0	
関東	.0	.2	.5	1.8	.5	.9	.2	.6	.0	.0	1.8	.0	.2	.0	.8	.0	.1	.2	.0	.1	.1	
甲信越北陸	.0	.4	.7	2.3	.8	1.0	.5	.6	.0	.0	3.2	.0	.4		.4	.0		.3	.1	.1	.1	
東海	.0	.0	.2	.5	2.1	.6	.6	.1	.6	.0	1.9	.0	.4		.4		.1	.2	.1	.1	.1	
近畿	.0	.0	.3	.5	2.3	.5	.6	.1	.4	.0	1.4	.0	.4		.4	.0	.2	.3		.1	.1	
中国四国	.1	.4	.5	3.3	.6	.4	.3	.7	.0	.0	1.5	.0	.3	.0	1.0	.0	.0	.3	.0	.0	.0	
九州沖縄	.5	.1	.3	.5	3.3	.5	1.1	.1	.7	.0	1.5	.1	.3		.7	.0	.0	.2		.1	.1	

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病を除く。(8月22日集計)

全国 全数把握感染症 第33週 (2007.8.13 ~ 8.19)

類 型	二類	三類感染症					四類感染症														五類感染症																				
		疾病名	(2) 結核	(1) コレラ	(2) 細菌性赤痢	(3) 腸管出血性大腸菌感染症	(4) 腸チフス	(5) パラチフス	(1) E型肝炎	(3) A型肝炎	(4) エキノコックス症	(6) オウム病	(10) Q熱	(12) コクシジオイデス症	(18) つつが虫病	(19) デング熱	(23) 日本紅斑熱	(24) 日本脳炎	(28) ブルセラ症	(30) 発疹チフス	(32) ボツリヌス症	(33) マラリア	(35) ライム病	(39) レジオネラ症	(40) レプトスピラ症	(1) アメーバ赤痢	(2) ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3) 急性脳炎	(4) クリプトスポリジウム症	(5) クロイツフェルト・ヤコブ病	(6) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7) 後天性免疫不全症候群	(8) ジアルジア症	(9) 髄膜炎菌性髄膜炎	(10) 先天性風しん症候群	(11) 梅毒	(12) 破傷風	(13) パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	(14) パンコマイシン耐性腸球菌感染症		
第33週報告数	全 国	181		11	130	3				1					3	3					1	1	11	1	7			1		11						5			1		
	四 国	愛 媛 県	4																																						
		香 川 県																																							
		徳 島 県			1	1																																			
		高 知 県	1																																						
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道	3			1																																			
		東 北 道	17			7																		1														1			
		関 東 圏	47		7	21	1				1					2						1	1	3		3				6						2					
		甲信越北陸	10		2	8																			1																
		東 海 道	32		1	22																			3		1			2										1	
近 畿 圏		29			49	2									1									3		2			1								1				
中 国 四 国	18		1	2																								1							1						
九 州 沖 縄	25			20																				1				1													
週 推 移	全 国	33週	181		11	130	3				1				3	3						1	1	11	1	7			1		11					5			1		
	32週	229		11	157			3	2	1					2	2								10		17	1	3			22		1		10			2			
	31週	225			165	1		1	2	1				1									1	25		14	6	1		3	2	8	1		9	5					
	30週	230	1	6	176				3	1					4	1						1	15		3	1	1		1	1	4			6	1						
2007年累積数	全 国	7638	9	320	2277	24	9	38	103	12	23	3	3	93	46	30	1	1		2	29	4	382	8	502	140	155	4	97	65	907	32	12		408	59		44			
	四 国	愛 媛 県	132		3	16				1	1						2							3		2	1	1		5	1	4			5						
		香 川 県	41		1	2				1			3											1		1	1	1			1	3			3						
		徳 島 県	70		1	12																			2		2				1	1									
		高 知 県	60			4				1															1	5		4	1	2		1		2	1						
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道	259		2	30	1	9	6	9	1											1	1	16		14	5	3		2	5	14			7	2		1			
		東 北 道	470	2	9	124	3	2	10		3			38	1						2			27		26	8	10		3	5	30		2	19	6		3			
		関 東 圏	1954	4	153	720	8	5	7	31	3	8		3	8	20	1						3	112	2	220	41	52	1	27	22	452	19	3	155	19		24			
		甲信越北陸	478		13	224	1	1	5					9	1									40	1	18	8	10	1	8	4	21	2		16	4		3			
		東 海 道	1185		48	133	3	14	10		3			4	4	5						1		61		58	8	5		11	5	134	2	1	69	3		8			
近 畿 圏		1318	3	61	419	8	2	3	20		5		10	12	4		1				7		58		113	35	34		20	7	169	6	2	37	6		4				
中 国 四 国	801		26	179			1	9		2	3		6	2	8	1				1		34		20	25	13	1	16	10	29	2	1	26	1							
九 州 沖 縄	1173		8	448			1	12		1			18	6	12								34	5	33	10	28	1	10	7	58	1	3	79	18		1				

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。
 ・2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。